

女性創業促進事業【愛媛県】

個別事業費	6,105 千円
交付金額	4,455 千円

地域の実情と課題

就業構造基本調査H24、H29、R4の女性の割合の推移をみると、本県の女性起業家の割合は横ばいであるのに対して、全国平均は上昇カーブを描いており、直近のR4年調査では、本県の女性起業家の割合は全国平均を下回っている。また、女性起業家のうち、スタートアップ型の起業の中心となる会社役員等の起業家の割合も全国平均を下回っており、社会課題の解決を図るスタートアップを目指す女性起業家の創出に力を入れて取り組んでいく必要がある。

事業の特徴

県内外の女性先輩起業家を講師としたセミナーを計5回開催。
 R6.11.22(金)、12.5(木)、R7.1.17(金)、1.27(月)、2.6(木)
 また、同セミナー参加者のうち、具体的な創業予定のある10名を対象に個別メンタリングをR7.1.17(金)、1.27(月)に実施し、創業実現に向けた初期段階のサポートを行った。
 さらに、クローズングイベントとして、女性創業希望者同士の交流会をR7.2.25(火)に開催し、ネットワーク形成の支援を行った。

事業の効果

本事業参加者は延べ131名となり、当初の目標を大きく上回ったほか、これまでEGFプログラム等の本県創業支援事業と接点のなかった参加者が半数以上を占めるなど、新たな起業関心層を掘り起こすことができ、本県創業支援策の裾野拡大に繋がった。
 また、えひめ産業振興財団等の支援機関や金融機関と連携し、各機関での具体的な創業相談に繋がった案件も生まれるなど、女性創業希望者の掘り起こし及び機運醸成としては、十分な効果を得ることができた。

目的・目標

女性スタートアップの創出に繋げるため、潜在する女性起業家の掘り起こしと、県内における女性スタートアップの機運醸成を図ることを目的とし、本事業参加者数50人、本事業による女性創業者数10人を目標とする。

連携団体

- EGF創業サポーター制度
 - ・県内金融機関や事業会社、商工団体
- 県内全20市町
- EGFスタートアップコミュニティ
- 公益財団法人えひめ産業振興財団ビジネス・サポート・オフィス(BSO)

今後の課題

これまでEGFプログラム等の本県創業支援事業と接点のなかった参加者が多く、新たな起業関心層を掘り起こすことができた一方、本事業参加者が創業を実現するまでの継続的な支援に繋げるためには、更なる工夫と関係機関との連携強化が必要である。

事業の概要

- ①県内外の女性先輩起業家を講師としたセミナーを計5回開催

【開催日】

R6.11.22(金)、12.5(木)

R7.1.17(金)、1.27(月)、2.6(木)



第1回 (テックアイエスコワーキング)



第3回 (P-SPOカフェ&イベントスペース)



第5回 (P-SPOカフェ&イベントスペース)

- ②同セミナー参加者のうち、具体的な創業予定のある10名を対象に個別メンタリングを実施し、創業実現に向けた初期段階のサポートを行った

【開催日】R7.1.17(金)、1.27(月)

- ③クローズングイベントとして、女性創業希望者同士の交流会を開催し、ネットワーク形成の支援を行った

【開催日】R7.2.25(火)



クローズングイベントの様子

県による情報発信に加え、SNSやTVCM、タウン情報誌など、様々な媒体での周知・広報



第3回～第4回のイベント宣伝用TVCM

セミナーTVCMの様子



テレビ取材の様子